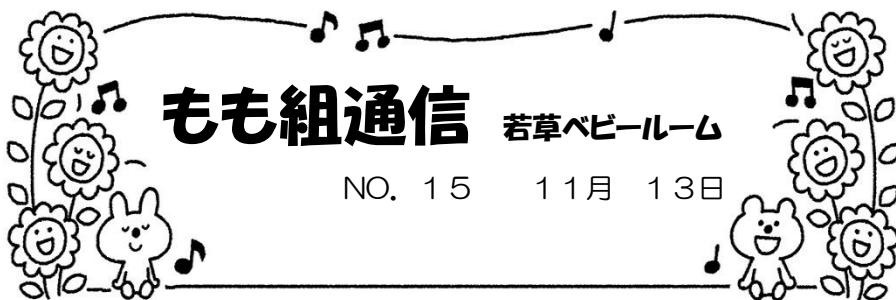




造形展号
No. 2



枝についたどんぐり

枝付きのどんぐりを先生が子どもたちに見せると、興味津々で見つめています。そのまま、枝からどんぐりを外して見せると子どもたちは「おー」「ちょーだい！」と自分もやってみたいと声を出し、どんぐりを外すことに挑戦！先生の心配をよそに子どもたちは器用にどんぐりを外していくのでした。

中には、どんぐりから外れた帽子を見つけ、頭に載せて帽子をアピールする子どもや、「2個ついてるー！」と双子のさくらんぼのようにくっついていっているどんぐりを見つけて喜び教えてくれる子どもの姿が見られましたよ。

どんぐりが外れる感覚を繰り返し味わったり、偶然外れたどんぐりの帽子を指にはめて遊んだり指先をたくさん使って遊びました。



秋の実たくさん！ マラカスづくり

遊んでいると、「アンパンマン！」「(からだ) ダンダン！」と歌のリクエストが止まらないもも組さん。たくさん集まったどんぐりやつばきの実など、秋の自然物を空のボトルに詰めていくと、「カラカラ！」といい音が聞こえてきました。「もっと！」と自分で入れる物を選んで詰めていき、満足すると「閉めて！」とアピールしたり、自分で蓋を閉めたりしてマラカスが出来上がりました。出来たばかりのマラカスを片手に、さっそく色々な歌に合わせてダンスパーティーがスタート！もも組が普段から楽しんでいる歌に合わせて、マラカスを振ったり、体をゆらしたりしてダンスを楽しみました♪

遊びに取り入れる中で自然物に親しみ、音が鳴る不思議さに気付いたり、その面白さを感じたりと感性を働かせていました。

